

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果（保育所等訪問 各施設）

(様式6)

事業所名	公表日	令和8年 2月 15日
社会福祉法人 白鷹町社会福祉協議会 児童発達支援センターにこっと	利用児童数	令和8年 2月 14日 回収数 15施設

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	14	1	0	集団生活の中で実践することが難しいこともあり、支援の場と園とのギャップで、反抗することもありました。	支援員と保育園の支援対応や内容を共有することが大切です。今後もより綿密な情報共有に努めて参ります。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	13	2	0	実際の様子、姿を見ながら、状況に合わせて助言していただきました。	一人一人の発達の進捗やつまずきの過程は全員違うことを前提に、個々を見取る力を一層高めて参ります。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	14	1	0		
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	10	5	0	構音の改善に向けてのアドバイスありがとうございました。	子ども達の確かな成長を、学校、保護者とともに喜び合えるよう、一層学校との連携に努めてまいります。
5	事業所からの支援に満足していますか。	12	3	0	園の行事に参加すると、振替日がなく楽しみにしていた支援がなくなり、落ち着いた日も多く見られました。	支援員との関りを楽しみにしている子ども達の期待に応えるべく、創意ある支援に努めて参ります。

その他のご意見

ご意見を踏まえた対応

△毎月1回の授業参観は、日程調整など負担が大きい。
も困り感を持っている担任との話し合い時間の確保が困難である。放課後等に担当間で情報共有や相談などができると、より効果的な機会となる。
△本事業に関わる説明等が、校長会などで行政サイドよりあるとありがたい。
○いつも肯定的なアドバイスやサポートに感謝している。子ども達は安心して過ごしている。
○学校での様子を丁寧に保護者に伝えてくださることで、保護者が安心感を持つことができている。学校と家庭のつなぎ役となっていてありがたい。
○月1回の学校訪問により、対象児童の看取りを意識してできるようになった。

△最
△本事業
○

・日程調整について、各施設にはご苦勞をおかけしているが、個別支援計画に基づき引き続き月1～2回の訪問をお願いしたい。
・担任の先生はじめ対応いただく先生方との意見交換の時間確保が難しいという点については継続課題としながらも、授業観察終了後の意見交換を短時間でも仕組んでいく。
・訪問支援事業の実施に係る説明を、年度初めのご挨拶時にさせていただきたい。
・訪問支援事業も3年目を迎え、訪問施設サイドと支援員との連携が年々充実していると感じる。また、保護者とのパイプ役として機能しているとのこと指摘にも感謝している。今度一層の連携に努め、児童個々の成長をともに看取り喜び合える事業を目指していく。